

畜産ネットワーク ちば

2008年10月1日
第13号

発行所 (社) 千葉県畜産協会
〒260-0026
千葉市中央区千葉港4番3号
千葉県畜産会館内
発行人 奥澤捷貴

『千葉県畜産フェア』の開催について

『千葉の畜産を“食べよう”“話そう”“知ろう”』

10月11日(土) 船橋競馬場「ふれあい広場」にて

消費者に千葉県の畜産・畜産物に理解を深めて頂くため、千葉県畜産フェアを開催します。昨年に引き続き『千葉の畜産を“食べよう”“話そう”“知ろう”』をテーマに30団体が出展し、牛乳・乳製品や、牛肉・豚肉・卵・はちみつをはじめ畜産物の加工品等の試食販売、搾乳体験・骨密度測定・ペットのしつけ方・なんでも相談等を行います。また、畜産ウルトラクイズには豪華景品が沢山用意されておりますので、皆様方の多数の参加をお待ちしています。

また、船橋市のご協力により、地元の畜産物はじめ水産物・野菜・お米等が販売され「千産千消」を多いにPRします。

なお、同時に千葉県競馬組合が日頃のファン・地域住民への感謝の気持ちからフリーマーケット・騎手会・厩務員会・船橋市消防局等によるイベントが計画されております。

会員・関係者の方々の多くのご来場を関係者一同、心よりお待ちしております。(専務理事 松田 延儀)

千葉県畜産フェア出展一覧

米(ふさこがね)、落花生販売 食育ネット	やきいも・野菜販売 JA富里市
こだわり玉子販売 奈良養鶏	太巻ずし・おこわ・もち販売 (有)長柄さくら郷
船橋産こだわり牛乳・乳製品販売	アイガモ米・古代米販売 長生村稲作組合
自家製アイスクリーム 佐久間牧場	マドレーヌ販売 スペース若紫
しあわせ牛肉(乳用種)試食販売 千葉産直ビーフ研究会	あさり味噌汁・農水産物販売 (株)モーム
豚肉焼肉試食販売 マーガレットポーク研究会	寒天・干物・海藻類販売 勝浦市川津女性部
厚焼き卵・鶏卵販売 千葉県卵業協会	いわし製品試食販売 (株)銚子いわし屋
国産はちみつ販売 千葉県養蜂協会	もちつき・梨・芋煮・野菜販売 JA市川市船橋市地区青年部船橋地場野菜組合
和牛サイコロステーキ試食販売 かずさ県牛肥育研究会	アイス・ソフトクリーム販売 近藤牧場
ビール・ジュース販売(キリンビール) 千葉県畜産物消費拡大促進協議会	ペット健康相談 (社)千葉県獣医師会
おにぎり販売 千葉県畜産物消費拡大協議会	ペットしつけ相談 (財)千葉県動物保護管理協会
豚肉焼肉試食販売 房総ポーク販売促進協議会	若潮牛(交雑種)焼き肉試食販売 若潮牛振興協議会
畜産加工品販売 堀江ファーム	畜産なんでも相談 NPO法人いきいきちばサポートセンター
牛乳販売 千葉酪農農業協同組合	畜産の現状 千葉畜産レディースネットワーク
骨密度測定、バター作り 千葉県牛乳普及協会	搾乳体験 千葉県酪農農業協同組合連合会
	花苗販売堆肥無料配布・販売 馬事畜産振興協議会・ホース産業

会場のご案内



もくじ

- ・「千葉の畜産を“食べよう”“話そう”“知ろう”」(1)
- ・日本の農業・畜産の将来へ向け飼料米に注目集まる
～飼料米に関する研修会開催される～(2)
- ・悩む前に相談を!! 地域勉強会も続々開催中!! (3)
- ・経営改善を効率的に実施するために、大家畜畜産経営
データベースへ登録しましょう!! (4)
- ・畜産総合研究センター技術情報 高タンパク質・高脂質
エコフィードの採卵鶏飼料への利用(7)
- ・ちば畜産レディースネットワーク通信(8)
- ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信(8)
- ・9月24日付で会長職務代理者に奥澤捷貴氏(8)
- ・編集後記(8)

日本の農業・畜産の将来へ向け飼料米に注目集まる

～飼料米に関する研修会開催される～

わが国の畜産は、飼料の多くを外国に依存しており、米国におけるトウモロコシのバイオエタノール利用の拡大や中国やインドなどの急速な経済成長に伴う穀物需要の大幅な増加、原油価格の値上がりによる海上運賃の上昇によって、飼料価格が高騰し、畜産経営は非常に厳しい状況になっています。

一方、水田では耕作放棄地の増加や生産調整の対応等が課題となり、その解決方法の一つとして、飼料米による利用が注目されています。しかしながら、耕種側、畜産側がお互いに連携するうえで流通面・費用面で大きな課題があります。

そこで、まず耕種・畜産含めた生産者はじめ、市町村等の生産調整及び畜産の担当のみなさんにお集まりいただき、研修会が開かれました。

どちらの研修会でも関係機関・生産者から多くの出席者を迎え、飼料米への関心の高さが伺えました。意見交換では、実際に飼料米として流通させる場合に耕種側から畜産側への供給価格、飼料米としての安定的な流通が確保できるかの問題等が大きく取り上げられました。

このような問題をクリアし、日本の農業が発展し自給率の向上を図るための大きな力として、この飼料米の活用が期待されます。

(経営支援課 宮上 竜也)

◆『飼料価格高騰緊急対策研修会～飼料米の利用推進に関する研修会～』

9月25日(木)旭市内にて、飼料米利用推進に係る研修会として千葉県畜産協会・千葉県農業協会肉用牛部会等が主催となり開催しました。県内関係機関及び肉用牛・酪農経営者など約60名が集まりました。

この研修会では、千葉県内の養豚・養鶏部門では先行している飼料米をはじめとするエコフィードを、肉用牛・酪農部門での活用を目的として開催されました。

【研修内容】

- ・『千葉県における飼料米の取り組みと今後の方向性について』
千葉県農林水産部生産販売振興課 副主幹 加瀬 誠 氏
千葉県農林水産部畜産課 副主幹 渡辺 博剛 氏
- ・『匝瑳市における飼料イネのソフトグレインサイレージについて』
海匠農林振興センター振興普及部改良普及課 上席普及指導員 菅谷 茂明 氏
- ・『飼料米の給与技術の紹介』
千葉県畜産総合研究センター乳牛肉用牛研究室 室長 石崎 重信 氏



多くの県内関係者、肉用牛・酪農経営者が集まりました。



ソフトグレインサイレージの様子。破碎した米粒、もみが見えます。

◆『飼料用米栽培及び活用に関する現地検討会』

9月29日(月)旭市内にて、旭市内の耕種農家と養豚・養鶏農家で構成される旭市飼料用米利用者協議会及び旭市水田農業推進協議会が主催する飼料用米の生産及び流通に関する研修会が行われました。この研修会では、農林水産省生産局畜産振興課・畜産企画課をはじめとして県内関係機関及び生産者など約70名が集まりました。

【研修内容】

- ・『多収穫品種の近況及び飼料用米の専用品種について』
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所 農学博士 加藤 浩 氏
- ・『耕畜連携による飼料用米の活用と日本農業の発展』
日本養豚生産者協議会長 (有)ブライトピック 会長 志澤 勝 氏
- ・『飼料増産受託システム拡大緊急対策の概要について』
全国農業協同組合連合会 畜産総合対策部 畜産環境対策室 技術主管 千葉 寿夫 氏
- ・『飼料用米をめぐる情勢と国等の支援について』
農林水産省 生産局畜産振興課 草地整備推進室長 小林 博行 氏



多くの参加者を迎え開催されました。

悩む前に相談を！！ 地域勉強会も続々開催中！！

～配合飼料価格の高騰等に対する相談窓口の設置・地域勉強会の開催～
(平成20年度国産飼料資源活用促進総合対策事業)

千葉県畜産協会では、配合飼料価格等の上昇に対応して家畜飼養、飼料給与等の技術の改善、生産方式の転換等、家畜の生産性向上を図るため、次のメニューに取り組みます。

取り組むメニュー

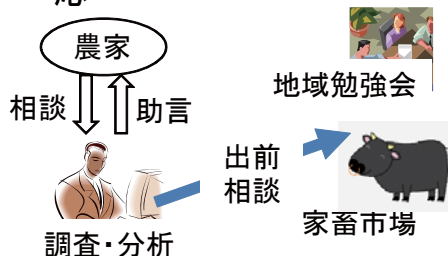
地域勉強会

○生産者の技術の再点検と生産性の向上に向け、先行事例の生産現場等における地域勉強会を開催



相談窓口の設置

○県畜産協会に専門家による相談窓口を設置し、生産者からの相談に対応



先行事例の調査・パンフレットの配布

○先行事例の技術・工夫等を調査・分析し他の経営に普及



○地域の生産現場に即した飼養技術等のポイントのパンフレットの作成・配布



最大限に効率的な家畜生産の実現

地域勉強会の開催

概要：技術的な工夫やコスト低減等により、成果を上げている経営の話や現場視察、専門講師による飼料給与、疾病管理、飼養管理など幅広い研修を実施します。

最も効率的な生産をするために必要な飼養管理技術等の習得を目標としています。

対象：生産者を中心に、農協、普及等経営支援組織・団体の職員など

実施及び実施計画は次の通りです。興味のある方はご参加、またはお問い合わせください。

No.	日時	場所	テーマ	内容
1	平成20年8月20日	旭市:ヒューマンプラザ「黄鶴」	平成20年度養豚セミナー	・豚人工授精の最新情報と経営的評価について ・養豚における主要疾病とその対策及び経済被害について
2	平成20年9月2日	千葉市:藤平牧場ほ場	自給飼料収穫実演・生産技術研修会	・トウモロコシの細断型ロールベール・ラップサイレージ同時技術の実演及び生産技術研修
3	平成20年9月25日	旭市:ヒューマンプラザ「黄鶴」	飼料価格高騰等緊急対策研修会	飼料米の利用推進に関する研修会
4	平成20年10月～21年3月まで(予定)		飼料生産コントラクト収集作業見学	調整中
5			稲WCSの生産と給与に係る研修会	
6			稲WCSの収穫調整と利用に係る研修会	
7			稲WCSの酪農部門での活用に係る研修会	
8			飼料価格高騰対策研修会	
9			エコフィード・飼料米に関する研修会	
10			飼養管理技術視察研修	
11			遊休農地等放牧研修会	
12			教育ファーム活動研修会	

お気軽にご相談ください。相談窓口の設置

飼料価格等の上昇に対し、飼養技術の向上をはじめとする経営改善のあり方等に関し、生産者等からの相談に応えるため、相談窓口を各地域農林振興センター内と畜産協会内に設置いたします。お気軽にご相談ください。

なお、この他に千葉家畜市場と畜産協会が地域団体と連携して開催する地域勉強会にも臨時の相談窓口を設置いたします。お問い合わせ先は、千葉県畜産協会事業部(043-242-8299)まで。(経営支援課 武田 善秀)

経営改善を効率的に実施するために、 大家畜畜産経営データベースへ登録しましょう！！

◆大家畜畜産経営データベース◆

事業の主旨に賛同した中央団体が持つ各種データを中央畜産会が一元管理・運営する大家畜（酪農・肉用牛）のデータベースのことです。

- ・データは利用了承を得た者（生産者・支援者）のみ利用することが可能です。
- ・データの利用だけではなく、データを活用するためのソフトも同時に提供されています。

主な参加団体

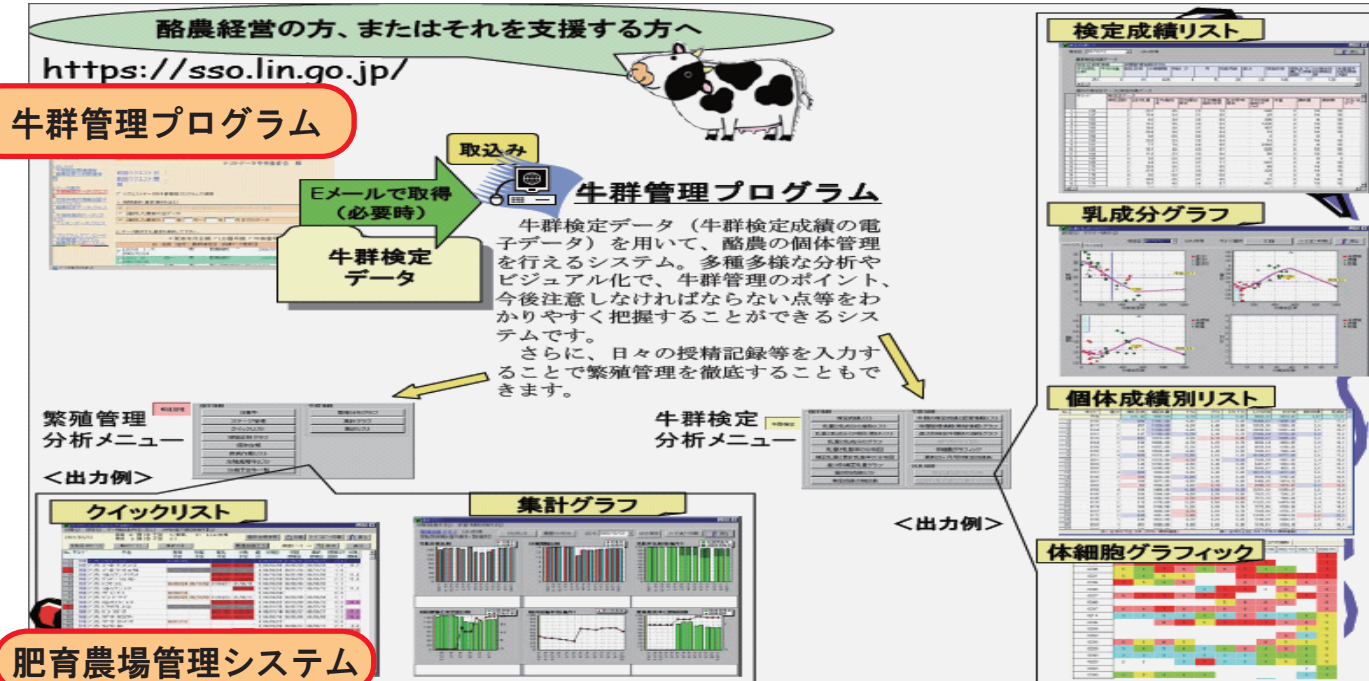
家畜改良事業団、全国肉用牛事業協同組合、全国枝肉格付協会、中央畜産会等

提供データ

牛群検定データ、枝肉格付結果データ、枝肉情報全国データ、経営分析データ（酪農・肉用牛）等

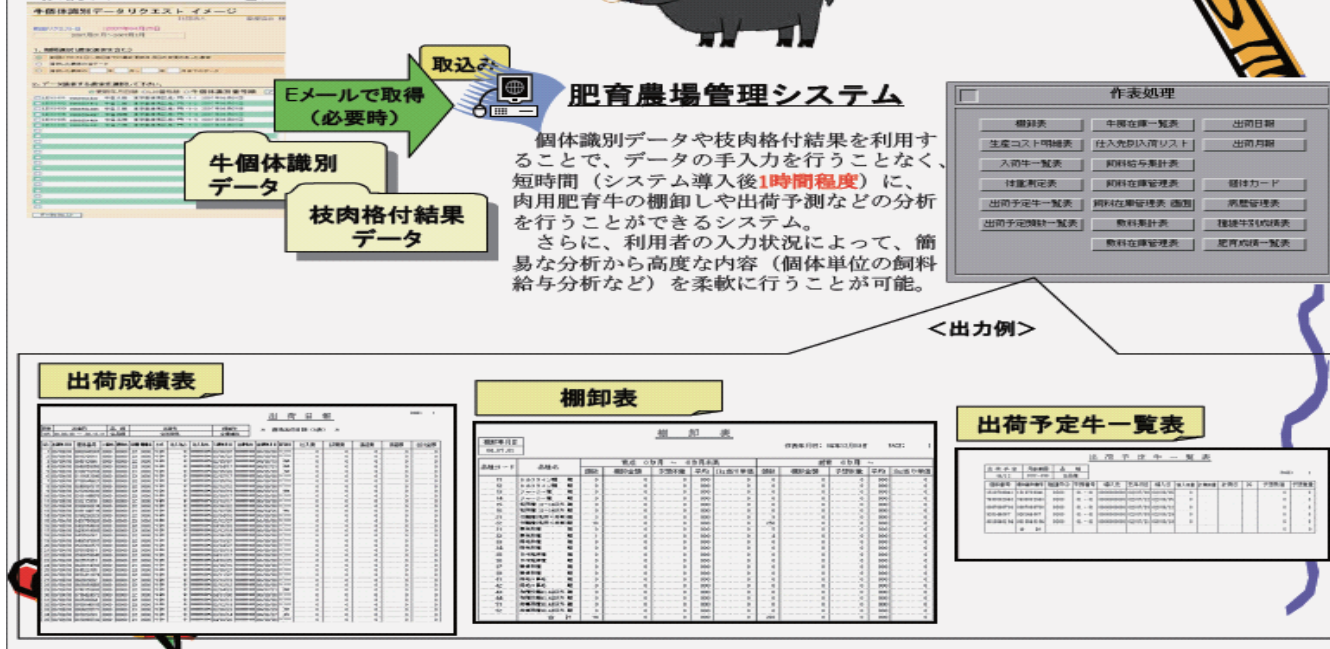
提供ソフト

牛群管理プログラム、肥育農場管理システム、経営分析システム等

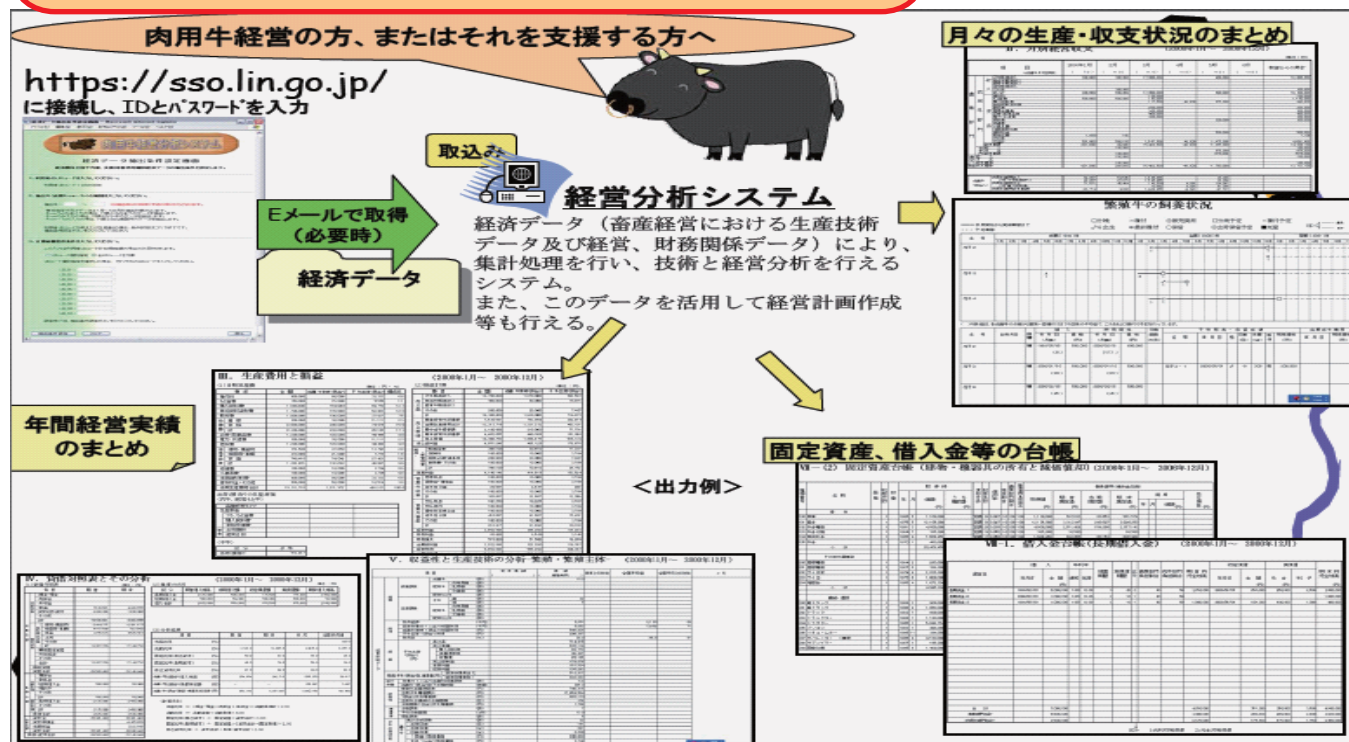


肉用牛経営（肥育）の方、またはそれを支援する方へ

<https://sso.lin.go.jp/>
に接続し、IDとパスワードを入力



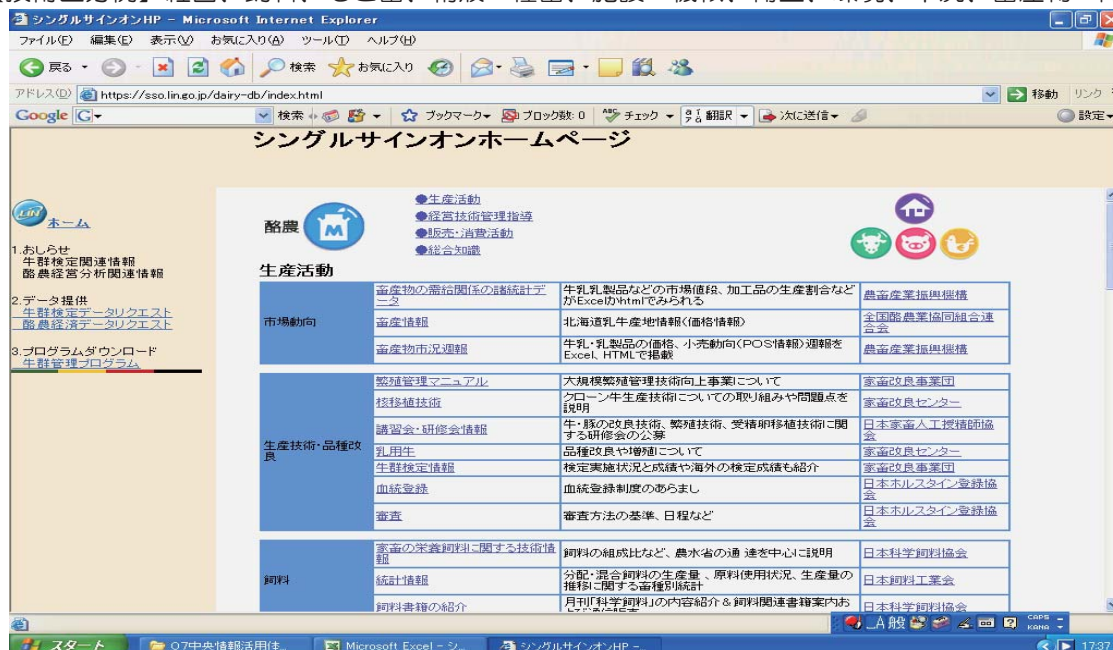
経営分析システム（酪農版と肉用牛版があります。）



畜産インターネット情報

LIN（畜産情報ネットワーク）に加盟した各団体が発信している情報やホームページ等のリンク集です。畜種や技術区分別に分けられており、必要とする情報へ簡単に接続できます。

【技術区分別】経営、飼料、もと畜、精液・種畜、施設・機械、衛生、環境、市況、畜産物・商品など



◆シングルサインオン機能◆

大家畜畜産経営データベースで提供されている各種ツールや情報等を利用するための個人情報の安全を確保する**セキュリティ機能**のことです。

・利用者が一度認証を受けるだけで、許可されているすべての機能（上記ツールと畜産インターネット情報）を利用できるようになります。

・専用ホームページにアクセスし、「**1回のIDとパスワードを入力**」すれば、中央畜産会をはじめ、中央畜産会と提携する各種団体等が提供する「各種データサービス」や「専用ツール」を使用できます。

（経営支援課 武田 善秀）

畜産総合研究センター技術情報

高タンパク質・高脂質エコフィードの採卵鶏飼料への利用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室
主席研究員 村野多可子

飼料の高騰化に併行して、食品残さの飼料化の動きは各地で盛んになり、家畜の種類を問わず関心は高まっている。その流れの中、国内で始めてコンビニエンスストアから排出される消費期限切れの食品を高タンパク質・高脂質素材、低タンパク質・低脂質素材に分別後、加熱乾燥して飼料化（エコフィード）する施設が県内で設立された。低タンパク質・低脂質エコフィードは豚の飼料としての利用が期待されるが、高タンパク質・高脂質エコフィードは豚の肉質への影響が懸念され、敬遠されがちである。しかし、高タンパク質・高脂質エコフィードはエネルギーが高く、採卵鶏へ有効利用できる可能性があるため、今回、このエコフィードを採卵鶏に給与して、産卵諸性能、卵質などについて検討した結果を紹介する。

1. 高タンパク質・高脂質エコフィード

都内のコンビニエンスストアから衛生的に収集された食品の内、弁当のおかず、惣菜、調理パン、具入り麺などの高脂麺、おでん・串物、高脂サラダ、中華まん、ケーキ・菓子類、低脂サラダを混合、加熱乾燥した製品である（写真1）。エコフィードの一般成分値をロットごとに3回測定したが、ほぼ類似した値を示し、残さ利用の際に懸念される変動はみられなかった（表1）。

表1. 高タンパク質・高脂質エコフィードの分析値

分析項目	ロット-1	ロット-2	ロット-3
粗タンパク質	23.8*	21.97	25.65
粗脂肪	24.95	28.27	23.45
粗繊維	1.2	1.28	1.52
粗灰分	4.63	4.47	4.88
NFE	45.42	44.02	44.5
Ca	0.1	0.12	0.16
P	0.25	0.33	0.41
Mg	0.02	0.03	0.02
K	0.78	0.83	0.8
Na	0.88	0.93	0.89

*DM%



写真1 高タンパク質・高脂質のエコフィード

2. 調査内容と結果

野外でももっとも多く飼養されている採卵鶏のジュリア156羽を用い、141日齢から476日齢まで、産卵諸性能、卵質、排泄糞中水分率などの調査を実施した。給与した飼料は当センターで配合し、エコフィードの添加割合を15%（15%添加群）、7.5%（7.5%添加群）、添加無し（無添加群）とした3群を設けた。

体重は15%、7.5%、無添加群の順に重い値を示した。産卵率の推移に3群間で有意な差はみられず、全期間の平均産卵率は15%添加群が89.7%、7.5%添加群が90.4%、無添加群が89.6%であった。

卵重の推移にも差はみられなかったが、エコフィードの添加量に併行して重い傾向にあった。産卵日量はエコフィード給与の2群が無添加群より良好な値を示した。飼料摂取量、飼料要求率も3群ともほぼ同様の値を示した(表2)。

表2. 全期間の平均産卵成績

群	産卵率(%)	卵重(g/個)	産卵日量(g/羽)	飼料摂取量(g/羽/日)	飼料要求率
15%添加	89.7	64.1	57.4	108.7	1.89
7.5%添加	90.4	63.3	57.3	109.4	1.91
無添加	89.6	63.0	56.5	107.3	1.90

卵質の検査項目である卵殻強度、卵殻厚、HU、卵黄色などにも有意な差はみられなかった(表3)。

表3. 全期間の平均卵質成績

群	卵重(g/個)	卵殻強度(kg/cm ²)	卵殻厚(mm)	HU	卵黄色
15%添加	64.2	4.09	0.36	89.9	10.1
7.5%添加	63.5	4.12	0.37	89.3	9.9
無添加	63.2	3.96	0.37	90.0	9.6

卵黄中の脂肪酸組成は、エコフィード給与の2群が、無添加群に比べて、明らかにオレイン酸が増加し、リノール酸が減少した($p<0.05$)。しかし、うま味に関するアスパラギン酸、グルタミン酸、アラニン、セリン、甘みを呈するグリシン、有機酸の内、酸味を呈するクエン酸、乳酸の値には差がみられなかった。

排泄ふん中の含水分率は、酷暑の一時期にエコフィード給与の2群が無添加群より高い傾向を示したが、全期間の平均水分率は7.5%添加群が残りの2群より明らかに低い値を示した($p<0.05$)。

各群から産出された卵をゆで、官能評価をした結果、エコフィードの給与量が多いほど好ましい結果を得た(図1)。

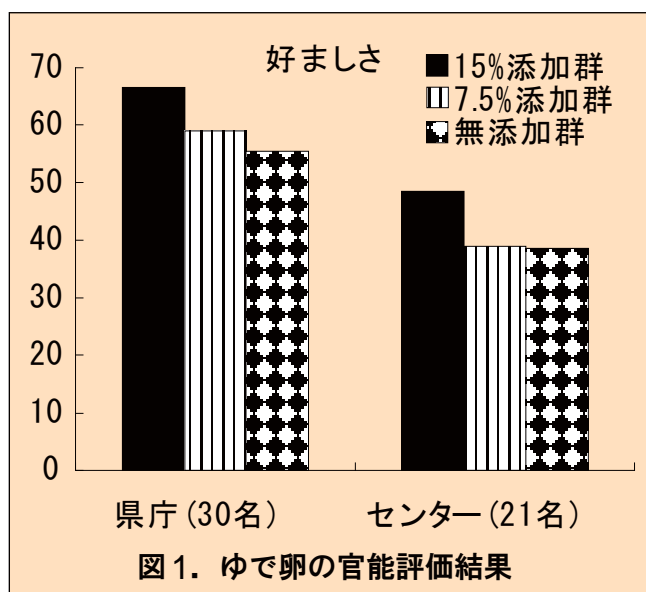


写真2. エコフィード給与群

3. まとめ

高タンパク質・高脂質のエコフィード添加飼料を採卵鶏に給与したところ、鶏の嗜好性には全く問題がみられず、産卵成績、卵質成績なども無添加給与群と同様、もしくは良好な結果が得られた。さらに給与群から産出された卵の嗜好性にも問題はみられなかったことから、高タンパク質・高脂質エコフィードは、今後、採卵鶏飼料原料として十分活用が可能と考えられる。



平成20年度総会を開催！！

あいさつする柴会長

多くの関係者にお集まりいただきました。

「畜産フェア」を盛り上げよう！！
10月11日（土）開催です。
会員のみならず、多くの参加を
お願いします！！

ちば畜産レディースネットワーク通信

～今後の活動を定期開催化～

9月24日（水）ホテルプラザ菜の花にて、会員はじめ、県内関係機関の来賓のみなさまを迎え、平成20年度総会を開催し、全議案について承認されました。

この畜産情勢の厳しい折、経営安定を図るため意識向上の研修、関係機関等との交流を深めるため総会終了後には交流会を開催し、実りある研修・情報交換を行いました。

なお、20年度事業計画において活動を偶数月第2火曜日と原則固定することに決定しました。会員のみならずのより一層の参加をよろしくお願いします。（事務局 宮上）

ネットワークについてのお問い合わせはこちらまで
ちば畜産レディースネットワーク事務局（千葉県畜産協会内・宮上）
TEL：043-242-8299
FAX：043-238-1255

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター 通信

● 県及び関係団体の事業について（協力または一部受託）

（社）千葉県畜産協会から各種事業における現地調査員として当NPO法人も畜産関係団体とともに加わり、現在活動中です。また、『人材活用モデル体制整備事業』・『畜産生産性向上促進総合対策事業』については、調査関係の一部を受託することとなりました。これらの活動については、乳牛・肉牛・養豚・養鶏・環境等の技術を持つ会員がそれぞれ参加しております。

● 生産者等に対する支援活動について

生産者（畜産経営者）に対する酪農・養豚部門における飼養技術や経営管理等支援活動の取組を始めました。

● 会員の募集について

将来に向けて、さらに支援活動を拡大したいため、幅広く会員を募集しております。つきましては、知り合いの方がおりましたら声をかけてくださるよう、ご協力をお願いいたします。（事務局 高梨）

入会金：個人1,000円 団体5,000円

年会費：個人3,000円（正会員・賛助会員とも） 団体正会員10,000円 賛助会員5,000円

現在の会員数：正会員42・賛助会員5

お問い合わせは・・・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局
 TEL：043-242-5417 FAX：043-238-1255

9月24日付で会長職務代理者に奥澤捷貴氏

9月24日発足の麻生内閣において、当協会の森英介会長が法務大臣に就任したことに伴い、会長の職務代理者に奥澤捷貴氏（千葉県酪農農業協同組合連合会長）が就任しました。（総務部 奥住英雄）

編集後記

今年も昨年に引き続き「千葉県畜産フェア」を10月11日（土）に船橋競馬場で開催することとなりました。地元を中心に昨年よりも多くの団体に出展いただけることになり、より充実した内容となっております。昨年以上に多くの方にご来場いただき、ちばの畜産をアピールしたいと思っております。（総務課 槌屋 健太郎）

総務課	TEL 043-242-5417(代)	FAX 043-238-1255	info@chiba.lin.go.jp
経営支援課	TEL 043-242-8299	FAX 043-238-1255	cb-keiei3@woody.ocn.ne.jp
価格安定課	TEL 043-242-6333	FAX 043-238-1255	tb-koushi@pop21.odn.ne.jp
衛生指導課	TEL 043-241-1738	FAX 043-241-3853	chieishi@aiores.ocn.ne.jp
養豚課	TEL 043-241-3851	FAX 043-241-3853	kato@np-chiba.jp